

# こうなんだい とくべつし えんがっこう こうないけんきゅう 港南台ひの特別支援学校の校内研究

ひのでは、各クラスが2週間に一度5分間ミーティングを行っています。教室のホワイトボードの前に集まり、クラス担任全員で話し合いをしています。記録はホワイトボードに書き込みながら話し合い、それを写真に撮って保存する。余計な手間をなるべく減らして効率的に校内研究を行うことを目指しています。

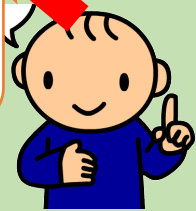
## 質問① 5分間でどうやって支援方法を決めているの??

5分で児童生徒の支援方法話し合うには、コツがあります。そのコツをいくつか紹介します。

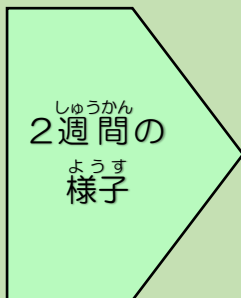
- ① 話し合う内容を限定する。2週間の様子をよく観察し、実態把握することが大切です。(子どもの様子を話し合うときにたくさんの情報があふれると話し合いは長くなりがち。5分間ミーティングの時には過去2週間の様子を話題にあげて話し合おう。)

~~1年生の時には...~~

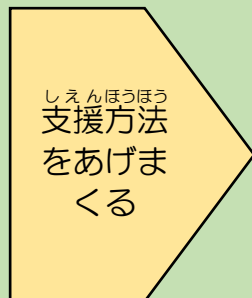
~~去年の担任が...~~



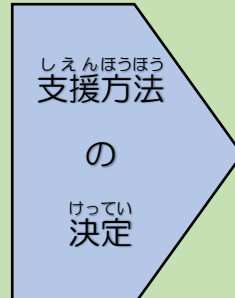
- ② 時間をきっちり計って、区切りをつけて話し合いをする。限られた時間で話す意識を持つことが大切です。(ついつい賛同したり、同じような意見に共感したりすることがあり、似たような事例を担任たちが話して盛り上がる。そんなことも5分間ミーティングでは控えよう。)



ふんかん  
2分間



ふんかん  
1分間



ふんかん  
1分間



Finish!!



じかんをはか  
時間を計  
ろう

- ③ 記録は短くすることで、どんどん意見を挙げられるようにする。単語や記号を活用することが大切です。(まだ書き終わってないかちょっと待って。とスムーズな話し合いを中断するようなことを最小限にしよう。)

悪い例	良い例
体操で模倣して取り組むことが増えた。	体操・模倣↑
休み時間から授業への切り替えができない。	授業への切り替え×

## 質問② 5分間ミーティングをやることでどんな効果があるの？

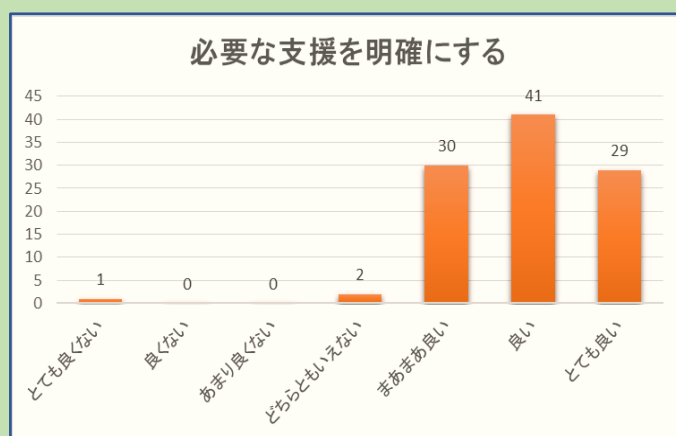
令和元年度に、ひのの教員に対して行ったアンケートから5分間ミーティングにはこんな効果があることがわかりました。

① 5分間ミーティングで最も効果的な項目は、【学級担任のチームティーチング】である！！

5分間ミーティングを行うことで最も良い影響があるものとして「学級担任のチームティーチング」であるという結果が出ています。特別支援学校では、各クラス複数担任制をとっているため、クラスの教員間の関係性が良いというのは実はとても大切な要素です。5分間ミーティングを通して、他教員の意見やその支援を理解することのできたクラスも多いため、プレイング中であって話し合える関係性ができていることが良かったものと考えられます。

② 5分間ミーティングは、【必要な支援を明確にする】ことができる！！

5分間という短い時間で、児童生徒の支援方法を検討できるのか？と疑問を感じるころですが、「必要な支援を明確にする」ことができたという回答が多くなっています。5分間でも必要な支援を明確にできているという実感をもっている教員が多いことがわかります。今後は前回までの支援の結果を把握する働きかけを5分間ミーティングの中でどのようにするか研究研修部で検討したいと思えます。



③ 5分間ミーティングの効果は学部によって異なる??

アンケート結果は、学部によって評価に違いが出ました。この要因を検討し、今後の課題としたいです。



ご質問などございましたら、本校研究研修係までお問い合わせください。

